

# LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第43期 (決算日2014年8月25日) 第44期 (決算日2014年9月24日) 第45期 (決算日2014年10月23日)  
第46期 (決算日2014年11月25日) 第47期 (決算日2014年12月24日) 第48期 (決算日2015年1月23日)

作成対象期間 (2014年7月24日～2015年1月23日)

第48期末 (2015年1月23日)	
基準価額	6,189円
純資産総額	6,996百万円
第43期～第48期	
騰落率	△8.8%
分配金(税込み)合計	480円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)」は、このたび、第43期～第48期の決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

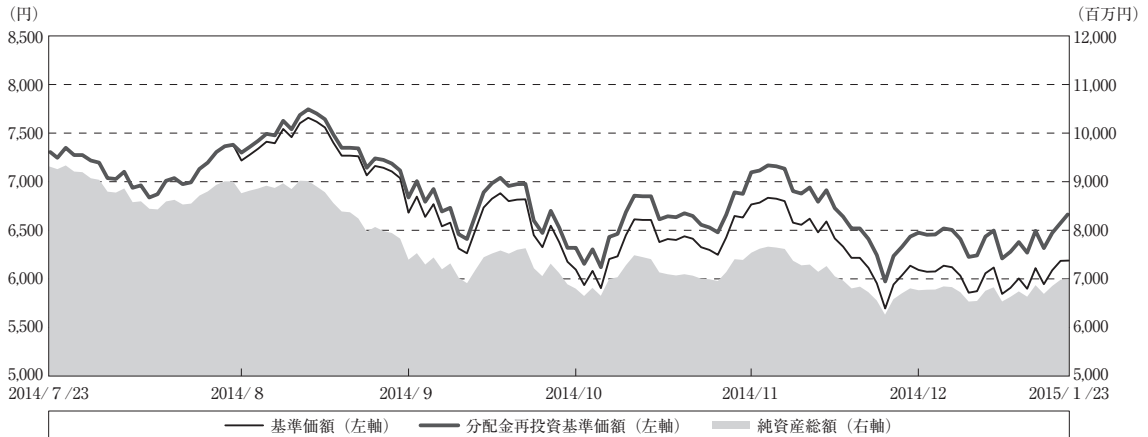
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2014年7月24日～2015年1月23日）



第43期首：7,305円

第48期末：6,189円（既払分配金（税込み）：480円）

騰落率：△8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年7月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2015年1月23日）のLM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は6,189円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス8.81%（分配金再投資ベース）、基準価額は636円（分配金込み）下落しました。当ファンドの運用においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。当作成期の基準価額変動は、主に株式相場の下落に伴い株式要因がマイナスとなったことから、マイナスとなりました。一方、為替要因については小幅プラスとなりました。株式要因の内訳については、スマイルズ、テレフォニカ・ブラジル、CETIP等の銘柄がプラスに寄与しました。一方、ヴァーレ、ミナスジェライス電力、AESティエテ等がマイナスの影響となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2014年7月24日～2015年1月23日）

項 目	第43期～第48期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 65 (31) (31) ( 3)	% 0.964 (0.467) (0.459) (0.038)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	8 ( 8)	0.120 (0.120)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	7 ( 6) ( 0) ( 0)	0.105 (0.093) (0.006) (0.007)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	80	1.189	
作成期間の平均基準価額は、6,755円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

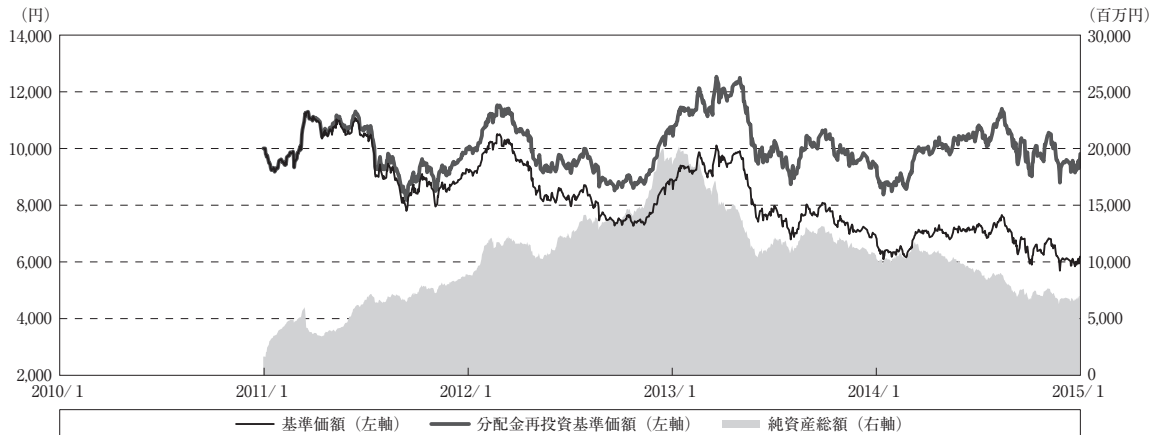
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2010年1月25日～2015年1月23日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2011年1月24日です。

	2011年1月24日 設定日	2012年1月23日 決算日	2013年1月23日 決算日	2014年1月23日 決算日	2015年1月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,224	8,569	6,827	6,189
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	780	960	960	960
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.3	4.1	△10.2	4.6
純資産総額 (百万円)	1,649	8,866	18,549	10,622	6,996

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2012年1月23日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

## 投資環境

（2014年7月24日～2015年1月23日）

当作成期のブラジル株式市場は下落しました。

期の前半は、2014年10月に行われた大統領選において、より経済を重視する政権への交代期待が高まり、株式市場は上昇しました。しかし、その後、イラクやウクライナ情勢の緊迫化や国内経済の低迷などが重石となり、軟調となりました。

期の半ばは、大統領選の行方が不透明となったことや、足元の国内景気の低迷が意識されたことなどから、株価は下落しました。大統領選ではルセフ大統領が再選されたものの、新政権がより市場に配慮した政策を取り入れるとの期待感から、株価は反発しました。

期の後半は、主要国の株式相場が下落したことなどを受け、ブラジルの株式市場も下落に転じました。その後は、次期財務相に市場の信頼の厚いレビイ氏が指名されたことを好感し、株価は一時上昇しました。しかし、原油や鉄鉱石などの資源価格の下落が進みリスク回避の動きが強まったことや、ブラジル経済の先行き不透明感などから、株価は上値の重い展開となりました。

為替市場では、ブラジルレアルは対円でほぼ横ばいとなりました。

期の前半は、ウクライナや中東を巡る緊張の高まりを受け、レアル売り・円買い優勢で始まりしました。しかし、その後、ブラジル中央銀行がレアル買い介入の強化を発表したことや、大統領選における政権交代観測が浮上し、より経済重視の政権への期待が高まったことから、レアル買い・円売りが優勢となりました。

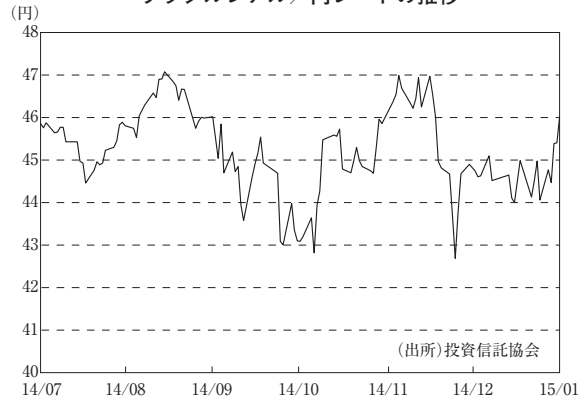
期の半ばは、大統領選の行方に対する不透明感が高まったことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。また、地政学リスクの高まりを受け投資家のリスク回避姿勢が強まり、レアル売り・円買いが進みました。しかし、ブラジル中央銀行による予想外の利上げや、日銀による予想外の追加金融緩和を受け、レアル買い・円売り優勢へと転じました。

期の後半は、新政権の経済閣僚人事が好感されたことや、円が主要通貨に対し弱含んだことなどから、レアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、原油や鉄鉱石等の資源価格の下落を背景にリスク回避の動きが強まったことから、レアル売り圧力が強まりました。当期末にかけては、ブラジル中央銀行による追加利上げ等を受け、レアル買いが優勢となりました。

ブラジルボベスパ指数



ブラジルレアル/円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2014年7月24日～2015年1月23日）

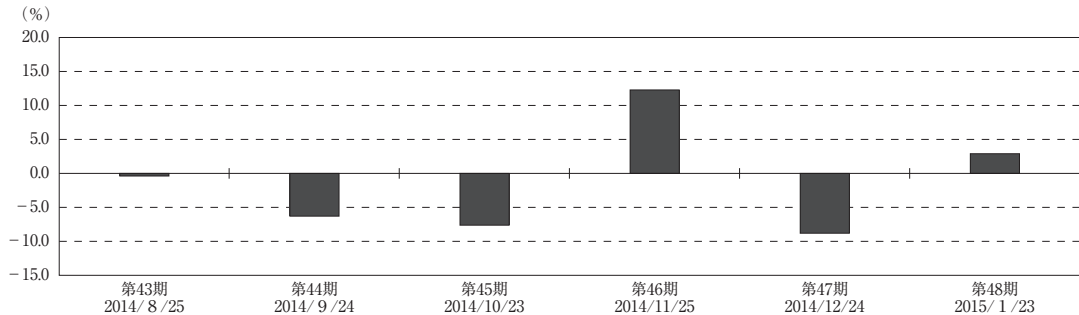
当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年7月24日～2015年1月23日）

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2014年7月24日～2015年1月23日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2014年7月24日 ～2014年8月25日	2014年8月26日 ～2014年9月24日	2014年9月25日 ～2014年10月23日	2014年10月24日 ～2014年11月25日	2014年11月26日 ～2014年12月24日	2014年12月25日 ～2015年1月23日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
（対基準価額比率）	1.096%	1.183%	1.295%	1.169%	1.296%	1.276%
当期の収益	34	4	30	19	53	14
当期の収益以外	45	75	49	60	26	65
翌期繰越分配対象額	1,962	1,887	1,838	1,778	1,754	1,689

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

ブラジル経済については、2014年7－9月期GDP（国内総生産）成長率が前期比+0.1%となるなど、足元の経済成長ペースは鈍いものとなっています。ルセフ新政権は、インフレ抑制や財政再建を優先する姿勢を示しており、当面の国内景気の成長ペースは鈍いものと予想されます。しかし、一方では、金融・財政政策の協調性が増していることから、ルセフ政権への投資家の信認が回復する要因となると期待されます。

金融政策については、ブラジル中央銀行はインフレを抑制するため、2014年10月に利上げを再開し、12月、2015年1月の政策決定会合でも追加利上げを決定しました。今後については、インフレ抑制姿勢は変わらないものの、過去の利上げの影響などを考慮しながら、慎重に利上げ判断を行うものと思われる。

為替市場については、ブラジル中央銀行がインフレ抑制を重視した政策を継続すると予想されることや、為替介入を継続する姿勢を示していることなどから、リアルは底堅く推移するものと予想されます。また、日本では日銀の積極的な金融緩和が継続されると見込まれ、リアルを対円で下支えする要因と考えられます。

株式市場については、原油等資源価格の下落や、引き締め型の金融・財政政策の影響などから、当面は上値の重い展開となる可能性があります。しかし、株価は株式相場にとっての悪材料を概ね織り込んだ水準にあると思われ、ルセフ政権への投資家の信認が回復するとともに、株式市場も次第に底堅く推移するものと予想されます。

## お知らせ

## ＜主な約款変更に関するお知らせ＞

投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に伴い、下記の約款変更を行いました。

- 運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書をいいます。）に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供するための規定を新設しました。
- 重大な約款変更および繰上償還を行う際に行われる書面決議の手続きに関して、次の変更を行いました。
  - ・ファンドの併合について、受益者の利益に及ぼす影響が軽微であるときは、当該併合に関する書面決議を不要とする変更を行いました。
  - ・ファンドの併合および約款変更に関する書面決議に係る要件について、受益者数要件を廃止し、「受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」から「受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」に変更を行いました。
  - ・書面決議において反対した受益者の受益権買取請求の規定の適用を除外する変更を行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限に関し、合理的な方法により算出した額が純資産総額を超えることとなる投資を行わない旨の規定を新設しました。

（変更日：2014年12月1日）

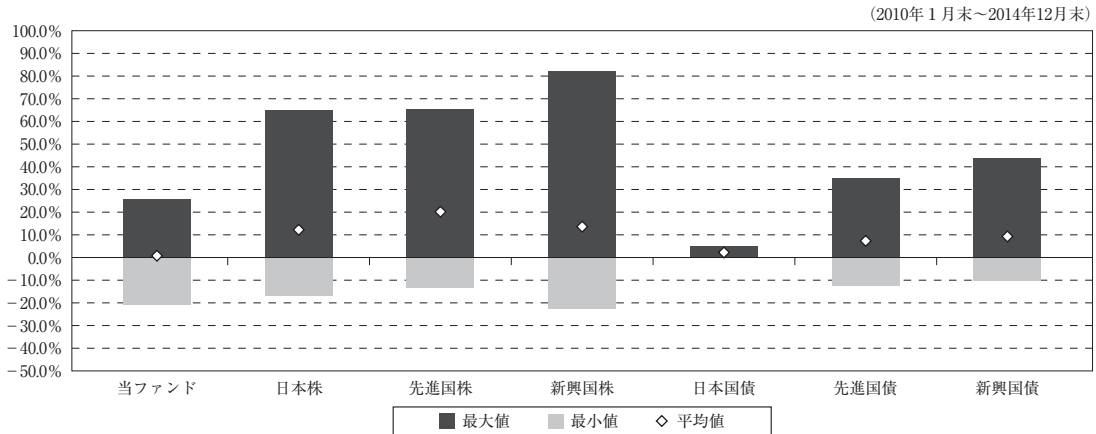
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年1月24日～2021年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	LM・ブラジル高配当株マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	



## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.7	65.0	65.7	82.4	4.9	34.9	44.1
最小値	△21.0	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	0.8	12.3	20.2	13.7	2.4	7.5	9.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2010年1月から2014年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2012年1月以降の年間騰落率を用いています。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### \*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

（注1）海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

（注2）上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2015年1月23日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第48期末
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	101.4%
組入銘柄数	1銘柄

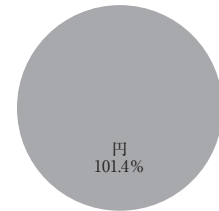
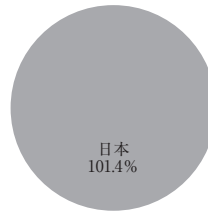
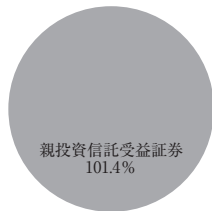
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

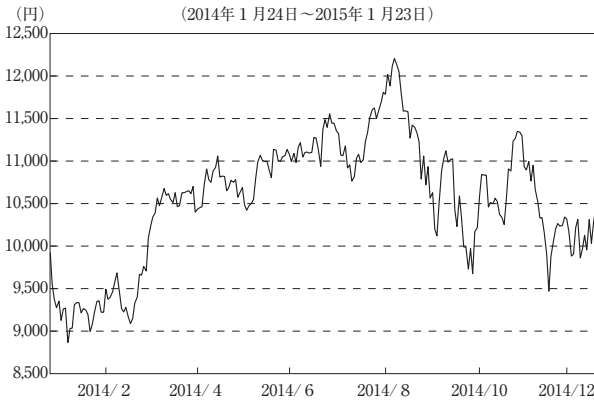
項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2014年8月25日	2014年9月24日	2014年10月23日	2014年11月25日	2014年12月24日	2015年1月23日
純資産総額	8,763,192,219円	7,396,072,448円	6,801,098,811円	7,539,277,880円	6,767,789,630円	6,996,688,577円
受益権総口数	12,138,990,333口	11,069,367,306口	11,156,607,623口	11,143,063,311口	11,108,288,626口	11,305,664,072口
1万口当たり基準価額	7,219円	6,682円	6,096円	6,766円	6,093円	6,189円

\* 当作成期間（第43期～第48期）中における追加設定元本額は2,121,813,665円、同解約元本額は3,569,190,415円です。

## 組入上位ファンドの概要

## LM・ブラジル高配当株マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2014年1月24日～2015年1月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	23円 (23)	0.222% (0.222)
(b) その他費用 (保管費用)	20 (20)	0.190 (0.190)
合計	43	0.412

期中の平均基準価額は、10,591円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2015年1月23日現在)

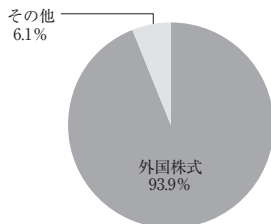
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	金融	ブラジルリアル	ブラジル	7.2
2	ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	資本財・サービス	ブラジルリアル	ブラジル	6.9
3	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	金融	ブラジルリアル	ブラジル	6.6
4	AES TIETE SA-PREF	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	6.1
5	CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	金融	ブラジルリアル	ブラジル	5.6
6	BANCO ABC BRASIL SA	金融	ブラジルリアル	ブラジル	5.4
7	ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	5.0
8	AMBEV SA	生活必需品	ブラジルリアル	ブラジル	4.6
9	CPFL ENERGIA SA	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	4.6
10	SOUZA CRUZ SA	生活必需品	ブラジルリアル	ブラジル	4.6
	組入銘柄数		24銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

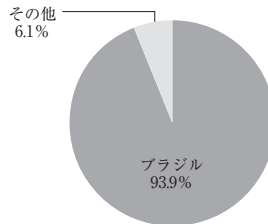
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

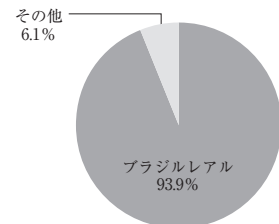
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。